

『住民相談室』で村づくり

行政計画は

村長の夢十(プラス)村民と対話

『村民の手による、村民のための市政』……四月を開始して、岩室村の将来の展望会を開催し、住民相談室と対話し、村政に対する苦情、要望を聞き責任ある回答をいたしております。これから、村政はみんな行政計画を具体化されており、村民自らの手で作り出される行政の実現です。毎月一ぱたりの村政ではなく、想像を吸収し、行き当たりばったりではありません。

あなたの相談相手になります――

新民生委員きまる

私達が幸せなことは、隣人みんなが健康で働けること、正資金貸付やいろいろの懸念です。不幸にして、病みについて相談相手になります。そして、再び幸せな人は、あなたの近所の民生家庭を築きましょう。

昭和43年11月1日

氏名	担当地	区
金子 佐	富岡、高橋	
佐藤 九三九	和一、二、三区	
中原 節	和四、五、六区	
武田 保太郎	津雲田、原	
渡辺 俊一	岩室	
和田 トヨ	石瀬	
青柳 正彦	金池、久保田、猿ヶ瀬	
阿部 実	夏井、北野、南谷内	
岡島 藤吉	横曾根、西長島	
五十嵐 浄尊	間瀬一、二、三区	
岡本 正明	間瀬四、五区	
高山 光子	七区	

(7)

いわむろ 80号

昭和43年12月1日



ヨースコイ! ホラ! ヨースコイ……と鮎の網を引く起舟(おきぶね)を漕ぐ、カケ声が寒風をついて響く、水揚げは水温の関係で昨年の四割減、ねだんも倍近く上がって一本三千円、庶民の味とはほど遠い。

銀鱗をかがやかして

漕ぐ、カケ声が寒風をついて響く、水揚げは水温の関係で昨年の四割減、ねだんも倍近く上がって一本三千円、庶民の味とはほど遠い。

この共済制度について、岩室村交通災害共済組合が発足してから二ヶ月で、見舞金支給対象の事故が発生し支給された。反面この数ヶ月に傷害事故が多く発生しているが未加入者が多く対象にならずくやまれている。四十秒に一人の割合で交通事故が起きている現状、住民の一人一人が人ごとではない問題です。

不幸にして事故にあった場合、一日一円の金銭を納めることによって、見舞金が受けられ、出費に当たるといふもので、十一月三日、金池浅田幸江さん(清作長女7才)は自動車に接触し一週間の傷害を受けた。四十九秒に一人の割合で交通事故が起きている現状、住民の一人一人が人ごとではない問題です。

この共済制度について、岩室村交通災害共済組合が発足してから二ヶ月で、見舞金支給対象の事故が発生し支給された。反面この数ヶ月に傷害事故が多く発生しているが未加入者が多く対象にならずくやまれている。四十秒に一人の割合で交通事故が起きている現状、住民の一人一人が人ごとではない問題です。

この制度について感謝されている。

この制度について感謝の村民に理解されず、一部が援手された。統いて市町

さんには賞状と賞金一万円が授与された。大関

さんには賞状と賞金一万円が授与された。大関